

● 新指定答申文化財の概要

【種別】有形文化財 絵画

【名称】絹本着色 仏涅槃図（けんぽんちゃくしよく ぶつねはんず）

【所在地】桑名市伝馬町 宗教法人 十念寺所蔵

【年代】室町時代(15世紀)

【寸法】縦 145.9cm、横 162.6cm

【概要】

桑名市の十念寺が所蔵する涅槃図です。涅槃図は釈迦の生涯を描いた仏伝図の一種で、涅槃会の本尊像として多くの寺院で制作され、伝えられています。

本図は、涅槃に入って横たわる釈迦と、その周囲で悲嘆号泣する菩薩や仏弟子、王侯などの人びとと、多数の禽獣を描いています。釈迦の肉身は白色、着衣には蓮華唐草（れんげからくさ）や網目（あみめ）文といった文様が截金（きりかね）線で表され、周囲の人々も赤や緑といった諸色で色鮮やかに表現されています。涅槃図には様々な形式があり、その中でも釈迦が横たわる宝棺の向かって左側面を見せる形式で、先に制作された同じ形式の涅槃図の色々なモチーフを継承して描かれています。室町時代以前に制作された貴重なものです。

